

新潟医療福祉大学 学生に対する保護者・大学の協働ガイドライン

2026年6月3日

教育担当副学長 大山 峰生

はじめに：大学から保護者の皆様へ

日頃より本学の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本ガイドラインは、本学に在学する学生の学修および学生生活を円滑に支援することを目的として、保護者と大学それぞれの役割や基本的な考え方を共有するものです。

本学では、4年間を通じて学生一人ひとりが円滑に社会へ移行できるよう、1年次からの早期支援体制を整備しています。学生の自立と主体的な学びを尊重することを基本としつつ、必要に応じて保護者の皆様と連携・協働しながら、学生の学修継続と成長を支援してまいります。

1. 保護者と大学の基本的な関係

(1) 学生の主体性・自立の尊重

大学は、高校までとは異なり、学生本人が学修・生活の主体となる場です。

保護者の皆様には、学生の意思決定や行動を尊重し、見守りと後方支援を基本としていただくことをお願いしています。

(2) 保護者と大学の「協働」

一方で、学修や学生生活において支援が必要と判断される場合には、大学から保護者の皆様へ情報共有やご相談を行うことがあります。これは、学生への不利益を防ぎ、成長を支えるための対応です。

2. 学生生活・支援体制について

本学では、以下のような多様な支援体制を整えています。

- ・キャンパスライフ
- ・就職・資格
- ・学修支援
- ・研究
- ・社会連携
- ・健康管理（学生相談・メンタルヘルス等）
- ・学生寮

保護者の皆様には、これらの支援体制について学生に共有いただき、必要に応じて利用を促していただくことをお願いしています。

3. 学修状況に関する情報共有の考え方

(1) 学修状況の把握と指導

本学では、グレード・ポイント・アベレージ（以下、GPA という）、出欠状況、必修科目の履修状況や習熟度試験結果等を基に、学修成果の可視化と早期支援に努めています。また、これらの指標を用いて修業年限内での卒業が困難となるリスクを早期に把握し、学生本人への指導・面談を中心とした支援を行っています。

(2) 保護者への連絡が行われる場合

以下のような状況が確認された場合には、原則として、学生本人への説明・指導を優先したうえで必要に応じて保護者の皆様へ連絡・相談を行うことがあります。これらの取り組みは、学生の学修状況を管理・監視することを目的とするものではありません。学生・保護者・大学がそれぞれの役割を理解し、協働して学修継続を支援することを目的としています。

- ・学修状況（GPA、必修科目の不可判定等）が大学の定める基準を著しく下回った場合
- ・前年度と比較して GPA の著しい低下が確認され、学修の継続に支障が生じる恐れがあると判断される場合
- ・修業年限内での卒業が困難と推察される場合（単位数や在籍期間の不足等）
- ・実質的な留年リスクが高まり、学生本人への大学による支援のみでは改善が見込めない場合
- ・同一科目（必修科目）を3週（3回）以上連続して欠席した場合、または学科が定める必修科目において連続欠席が確認された場合

4. 個人情報の取り扱いについて

- ・学生の成績、健康情報等は個人情報に該当します。
- ・大学では、関係法令および学内規程に基づき、適切に管理しています。
- ・原則として、学生本人の同意なく、これらの情報を保護者に開示することはありません。

ただし、生命または身体に関わる緊急性が高いと判断される場合や、学修継続に重大な影響が及ぶと判断される場合には、本人の同意がなくとも、必要最小限の情報を保護者へ共有することがあります。特に、学内またはその周辺において学生が救急搬送されることを大学が把握した場合には、理由のいかんを問わず、保護者への連絡を優先します。

5. ポータルサイトの活用について

保護者の皆様には、所定の手続きを経たうえで、学生ポータルサイトの一部情報（時間割、修得単位数、出欠状況等）を閲覧いただけます。閲覧するためのご案内を例年7月ごろに1年生の保護者の皆様を対象に郵送しています。

- ・閲覧は「月1回程度」を目安としてください。
- ・気になる点がある場合は、まず学生本人との対話をお願いします。

6. 本学が大切に学ぶのつながり — 連携教育と社会での経験について —

本学では、連携教育等をはじめとする学内での体系的な学修と、インターンシップや正課外活動を通じた社会での学びを結び付けることで、学生が将来、保健・医療・福祉・スポーツ分野において多職種と協働しながら、質の高い支援を実践できる人材へと成長することを目指しています。

(1) 連携教育

本学では、学科・専門領域の枠を越えて学ぶ「連携教育」を、専門職としての実践力を高めるための重要な教育の柱として位置づけています。連携教育は、保健・医療・福祉・スポーツ分野において不可欠となる多職種協働を前提とした学修であり、学生がそれぞれの専門性を相互に理解しながら、対象者中心の視点に立って課題を捉え、協働して解決策を考え、実践する力を養うことを目的としています。正課として開講される連携教育科目では、学内外の多職種と関わる学修を通じて、チームワークやリーダーシップ、対象者を支援する力、課題を発見する力といった社会や企業が求める能力（STEPSのT・E・P）を中心に身につけていきます。これらの学びは、「優れたQOLサポーターを育成する大

学」という本学の基本理念のもとで定める「優れた QOL サポーターを育成する 5 つの STEPS」とも深く関係しており、知識や技術の習得にとどまらず、専門職としての実践力を体系的に育成する役割を担っています。

【参考】優れた QOL サポーターを育成する 5 つの STEPS

項目	英語表記	意味・位置づけ
S	Science & Art	科学的知識と技能を学び続ける力
T	Teamwork & Leadership	チームワークとリーダーシップを発揮する力
E	Empowerment	対象者を支援する力
P	Problem-solving	問題を解決する力
S	Self-actualization	自己実現を達成する力

(2) インターンシップ・正課外活動について

一方、インターンシップや地域・社会貢献活動等の正課外活動は、学内での学修や連携教育で培った力を基盤として、社会との接点の中で学びを深める重要な学修機会として位置づけています。これらの活動には、正課として実施されるものに加え、正課外として学生の主体的な意思により参加する活動も含まれます。学生は、企業や医療機関、福祉施設、地域団体など多様な現場において、実際の社会課題や現場のニーズに触れながら学ぶことで、学内で身につけた知識や視点を実社会の中で発揮していきます。こうした経験を通じて、チームの一員として行動する力や主体性、対象者や社会を支援する実践的な力、現場で課題を発見し考え抜く力といった STEPS に示される要素を実践の中で高めていきます。

(3) 保護者の皆様へのお願い

これらの学修機会を有意義なものとするためには、学生自身が学修の目的や意義を理解し、主体的に取り組む姿勢が重要となります。そのため、保護者の皆さまにおかれましては、本学が展開する連携教育やインターンシップ、正課外活動の趣旨をご理解いただき、学生が多様な人や社会と関わりながら学びに挑戦することを、必要に応じて後押しいただくことをお願いします。

7. 学外実習に関するご案内

本学では、学外実習が教育課程上きわめて重要な学修機会であることを踏まえ、学生・保護者の経済的負担への配慮と教育の質の確保の両立を目的として、「学外実習経費支援に関する WG（ワーキンググループ）」を設置し、制度設計および運用の検討を行っています。

(1) 学外実習の教育的意義

学外実習は、講義や演習で得た知識・技能を実践の場で統合し、専門職として求められる判断力や倫理観、対人関係能力を養う重要な教育活動です。多くの学科において、国家試験や資格取得とも密接に関係する必須の学修過程として位置づけられています。

(2) 学外実習経費の位置づけ

学外実習に伴い発生する交通費、宿泊費等は、教育課程の性質上、一定程度学生個人の負担が生じる場合があります。一方で、本学としては、学修機会の公平性確保および過度な負担回避の観点から、大学として支援すべき範囲や方法について継続的に検討しています。

(3) 保護者への情報提供と連携

学外実習に関する考え方や費用負担の枠組みについては、入学時オリエンテーション、保護者会、ポータルサイト等を通じて情報提供を継続的にを行います。また、実習実施時期が近づいた段階で、具体的な費用負担が見込まれる場合には、学生本人への説明を基本としたうえで、必要に応じて保護者の皆様にも情報共有を行います。

(4) 保護者の皆様へのお願い

- ・学外実習に関する不明点や不安がある場合は、まず学生本人と内容を共有してください
- ・実習先への直接のお問い合わせはご遠慮ください

本学では、学外実習をめぐる課題について、学生・保護者・大学が同じ情報を共有し、相互理解のもとで学修を支える体制づくりを重視しています。

8. 保護者会・後援会等について

(1) 保護者会

毎年10・11月頃に開催される保護者会では、大学全体の運営状況や教育の取り組み、学科ごとの教育内容等について説明を行います。詳細は9月頃にご案内します。

(2) 後援会

後援会は、学生の学びや学生生活を、大学と保護者が協力して支えるための組織です。教育活動や課外活動、学外実習などについて支援し、安心して大学生活を送れる環境づくりを目的としています。具体的な支援内容は随時ご案内します。

(3) 大学祭（伍桃祭）

大学祭（伍桃祭）などの行事は、大学や学生の活動を知っていただく機会として位置づけています。本学の教育・学生生活への理解を深めていただく場として、積極的なご参加を歓迎しています。

9. 災害・緊急時の対応

自然災害や重大事故等が発生した場合には、大学として学生の安全確保を最優先に対応します。緊急連絡や情報提供は、大学公式サイトやMyiD（学生支援アプリ）等を通じて行いますので、平時より確認をお願いします。

10. 大学へのお問い合わせについて

(1) 基本的な考え方

学修内容、成績評価、実習内容等については、原則として学生本人からの問い合わせを基本とし、まずはポータルサイトにて確認いただくことを推奨しています。

(2) 保護者から直接お問い合わせいただける主な事項

- ・学則・制度全般に関する一般的な説明
- ・奨学金・経済支援制度
- ・学費納入に関する事項
- ・災害時・緊急時の安否確認

なお、成績、授業内容、単位修得状況等の学修に関する事項は、学科または担当教員（ゼミ担当・担任等）が状況を把握している場合が多いため、まずは学科を通じての相談を基本としています。

11. よくあるご質問 (FAQ)

Q1. 保護者は学生の成績や GPA を確認できますか。

A. 原則として、個別の成績評価や GPA の詳細については、学生本人への開示を基本としています。保護者の皆様が確認できる情報は、所定の手続きを経たうえでポータルサイトに表示される一部の学修状況に限られます。

Q2. 欠席や成績不振について、保護者から大学へ直接連絡してもよいですか。

A. 学修状況や出欠、成績に関する事項については、原則として学生本人からの相談・問い合わせを基本としています。まずはポータルサイトにて学生本人の状況を確認してください。

Q3. 学外実習先へ、保護者が直接連絡してもよいですか。

A. 学外実習に関する連絡・調整は、大学および学生本人が行います。保護者の方が実習先へ直接連絡することは、原則としてご遠慮ください。

Q4. 修業年限内で卒業できるか心配な場合、保護者から相談できますか。

A. 大学としては、まず学生本人への指導・面談を通じて、状況の把握と必要な支援を行います。そのうえで、必要に応じて保護者の皆様とご相談させていただきたいと考えております。

なお、学修面や学生生活面において、大学が把握できていない事情が学生本人にある場合など、相互に確認が必要であると判断される際には、情報共有や意見交換を行うことがあります。

学費未納の状況にある場合においては、大学から保護者に直接連絡をさせて頂き、未納が解消しない場合は大学から所定の運用ルールに基づき学生本人へ共有することがあります。

Q5. 奨学金や学費に関する相談は、保護者から行えますか。

A. 学費の納入や奨学金、経済支援制度に関する事項については、保護者の皆様から直接お問い合わせいただけます。

おわりに

本学は、保護者の皆様を「学生の成長とともに支える大切なパートナー」と考え、学生への早期支援体制を整えるとともに、必要に応じた協働を重視しています。

学生一人ひとりが将来、対象者の QOL 向上に寄与できる「優れた QOL サポーター」として成長できるよう、保護者の皆様と連携しながら、その学びを支えてまいります。

※本ガイドラインは、制度改正等に応じて、内容を見直すことがあります。

保護者と大学の協働ガイドライン

学生の自立と成長を支えるパートナーシップ

学生の主体的な学びを尊重し、「優れたQOLサポーター」への成長と社会への円滑な移行を支えるための、保護者と大学の連携・情報共有の基本指針

専門職への成長を支える仕組み

学生の意思決定や行動を尊重し、見守りと後方支援を基本とした対応をお願いしています。



保護者



ポータルサイト※の適切な活用

🕒 月1回程度を目安にご確認ください。

💬 気になる点がある場合は、まず学生本人と話し合うことをお願いしています。

※ポータルサイトとは：お子様の成績や出席状況、大学からのお知らせをオンラインで確認できる専用サイトです。学修状況を保護者の方も確認いただくことで、適切な時期での対話や見守りにご活用いただけます。

国家資格取得と実習を通じた実践力の修得を通じて、専門職としてのキャリア形成を強力にバックアップします。



大学

！ 大学からの連絡基準 !

- 📉 成績不振・卒業リスク
- 📅 3週(3回)以上の連続欠席
- 🚨 緊急事態(緊急搬送等)

・GPAの著しい低下や、修業年限内での卒業が困難と判断される場合
・同一必修科目3週連続欠席など学修継続支障の予兆
・生命・身体の緊急性が高い場合、保護者へ最優先連絡。

優れたQOLサポーターを育成する「STEPS」



チームワークや課題解決など、在学中に修得すべき5つの能力を「STEPS」と定義しています。



実習・正課外活動への理解と協力

学外実習や正課外活動は、国家資格や資格取得、専門職としての成長に直結する重要な学びの場であり、経済支援や情報共有で学生を支えます。



お問い合わせ



学生本人が確認・相談できる事項

まずは、学生本人からの相談・確認をお願いしています。

- ☑ 個別の成績評価やGPAの詳細
- ☑ 欠席状況・履修状況
- ☑ 学外実習の具体的内容や調整
- ☑ 授業内容の詳細 など



保護者が問い合わせることができる事項

- ☑ 学費納入に関する事項
- ☑ 学則や各種制度に関する一般的な説明
- ☑ 奨学金・経済支援制度
- ☑ 就職支援体制・キャリア教育 など



新潟医療福祉大学 TEL:025-257-4455(代表) E-mail:soudan@nuhw.ac.jp